

追悼
童門冬二先生を悼んで

童門冬二先生には、平成9年のいわきヒューマンカレッジ（市民大学）の開学以来、27年の長きにわたり学長を務めていただきました。

毎年入学式の際には、歴史を題材に幅広いテーマでご講演いただくとともに、修了式では修了生に向けて、先生の生涯学習への情熱と愛情がこもった温かいメッセージをいただけてきました。中でも、二宮金次郎の志「積小為大（せきしょういだい：小さなことを積んで大きくする）」を引用しながら先生が仰られた「身近なできること（積小）からおはじめ下さい。誰かさんをよろこばせることが大切です」という言葉は、今も私たちの心に、また、本学の精神に深く刻まれております。

先生が生前、本学へ寄せてくださった深い愛情と学問への無尽蔵なる情熱、そして先生の温かい思いやりに対し、私たちは絶えず感謝の念を新たにしているところです。

本学では、開学以来、学長として御貢献いただいた先生に対し、その業績を讃え未来へ繋げていくため、「名誉学長」の称号を追贈させていただきました。

これは先生の高邁な精神が今もなお市民大学に変わらず息づいており、その尊い志と業績をこれからも大切にしていきたいという私たちの決意の表明でもございます。

現在、先生のこれまでのご講演を講演集として編纂させていただいているところです。本学に残してくださった先生の教えを後世にも伝えていくことができるとすれば、私たちは何よりも幸いに存じます。

私たちは、先生の生涯学習への情熱と愛情をこれからも引き継ぎ、今後も市民大学の発展に努めてまいります。

童門先生、ありがとうございました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

いわき市長

いわきヒューマンカレッジ（市民大学）理事長

内田 広之